

令和2年度生きる力を育む『弁当の日』の取組状況

(令和2年8月31日現在の状況)

園部第二小学校

6年生においては、夏休みに学校で栽培されたピーマンを1人1個持ち帰り、何人かは家庭で調理をおこなった。また、健幸・食育レシピコンテストの応募作品を夏休みの宿題として取組んだ。

今後については、新型コロナウイルス感染拡大の観点から調理実習はできないが、6年生対し教科書に沿って栄養バランスや調理法を伝えていきたいとのこと。従来と進め方や内容が異なる部分もあるが、子ども達に「生きる力」をつけていきたい。

10/8～11/12の間で7～8回小学校栄養教諭と保健医療課栄養士が「栄養バランス」「調理法」「献立作成」の授業をおこなう。献立作成はテーマを(仮)バランスのよい給食レシピとし、6年生が考えた献立が給食メニューに展開され実際、給食として提供できるよう調整していく予定である。

八木東小学校

「弁当の日」は担任と隊長が協力しながら、取組みを行うよう計画を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、調理実習の禁止や外部からの校内への出入りを控えている。毎年1学期に実施していた梅干漬けも中止とし、3学期に実施している切干大根づくりも難しい状況である。

2学期に入り、校内でも話合いがしっかり持っていないので今後協議していく予定である。調理に係ることが出来なくても、何かその内容に変わる取組みを考えていきたい。その際には協力をお願いしたい。

殿田小学校

現段階では、何も取組が考えられていない状況である。実施される学校があれば、どのような形でされるのかまた、教えていただきたい。

今後、学校の中で方向性が見えてきたら、その時はお願いしたい。

美山小学校

現地点では、取組みの体制が決まっていない。今後、学校の中で取組む事が決まれば、お世話になりたい。